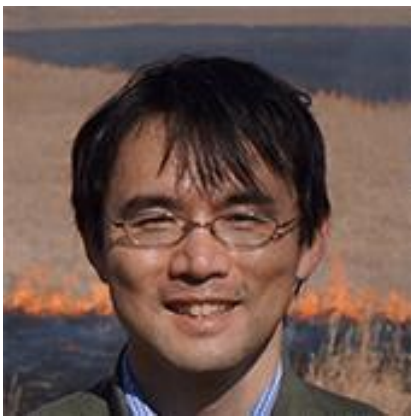


「非AUG開始コドンの 翻訳制御」

非AUG開始コドンの翻訳制御ついて、
カンザス州立大学の浅野 桂 教授に最新の研究を御紹介頂きます。
多くの方のご参加をお待ちしております。

7月3日 13:00~14:30
(月) **会場：日亜メディカルホール**



浅野 桂 教授

カンザス州立大学
生物学科

リボソームによる翻訳の開始コドンはAUGだが、GUGやCUGなど非AUG開始コドンからの翻訳開始が最近注目されている。これらの非AUG開始コドンが幅広い生物種においてみられるのはどうしてだろうか？原核生物では、例えばGUGコドンを使うことで翻訳開始をRNA構造変化によって効率よく調節することが可能になる。真核生物では非AUGコドンからの開始は通常は高くないが、翻訳開始因子のバランスが崩れると高まる。これを防ぐために真核生物には5MPと呼ばれる調節因子が存在する。5MPは癌化を促す因子である。非AUG開始コドンは癌抑制遺伝子や癌原性遺伝子の翻訳開始にも使われており、非AUG開始コドンが癌化とその抑制にどう関連するのか考察したい。

本セミナーは、
大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに
クラスターコアセミナー（心・血管クラスター）を兼ねています。

主催：徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野（内線 7172）

共催：NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構